



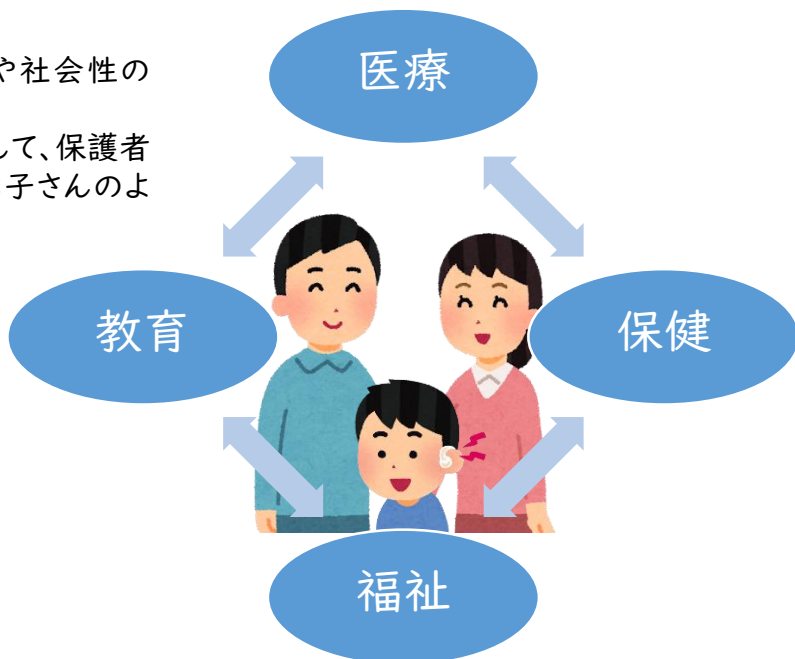
お子さまの聞こえが気になるときは
早めの対応が極めて重要です。



まずは聴覚支援センターに連絡ください。

適切な教育を行うことで、ことばや社会性の発達を促すことができます。

保健、医療、福祉の専門家と連携して、保護者と共に、聞えない・聞こえにくいお子さんのよりよい発達を支援します。



0歳から
相談無料

小さなことでも、お気軽に連絡ください。 相談時間：月～金 9:00～17:00



但馬 丹波

豊岡聴覚支援センター

県立豊岡聴覚特別支援学校内

Tel : 0796-22-2114

Fax : 0796-22-2114



西播磨 中播磨 東播磨 北播磨

姫路聴覚支援センター

県立姫路聴覚特別支援学校内

Tel : 079-284-0331

Fax : 079-284-0331



阪神 丹波

こばと聴覚支援センター

県立こばと聴覚特別支援学校内

Tel : 0798-53-5061

Fax : 0798-53-5061



淡路

あわじ聴覚支援センター

県立あわじ特別支援学校内

Tel : 0799-22-1766

Fax : 0799-22-1766



神戸 阪神 東播磨 淡路

神戸聴覚支援センター

県立神戸聴覚特別支援学校内

Tel : 078-709-9301

Fax : 078-709-9301



聴覚支援センターで行われる支援の例

- ① 親子のコミュニケーションの方法
ことばの発達や親子の愛着関係を育む方法を工夫
- ② 情報提供
聴覚特別支援学校保育相談部等の保育参観
難聴疑似体験
ロールモデルとなる本校生徒や職員との出会い
補聴器や人工内耳
保護者の仲間との出会い
就学や進路選択
福祉関係の手続き
- ③ ことばや発達
聴覚活用・音声・手話・指文字・文字の習得等
お子さんに合った方法で、ことばの育ちを支援
- ④ 聴覚管理
聴力測定
お子さんの聞こえ
補聴器の相談



0歳児と保護者の集団教室
(保護者同士が知り合う機会にもなっています。)



聴覚特別支援学校における聴力測定

Q&A

一人一人のニーズに応じた対応をしますので、
詳細は聴覚支援センターにお問い合わせください。

Q:電話のみの教育相談でも構いませんか？

A:相談の内容によっては、電話のみで済む場合もあります。気軽にお問い合わせください。

Q:何か月の赤ちゃんから聴力を測れますか？

A:0歳からそれぞれの月齢・年齢に応じた方法で測定します。首が座れば(4、5ヶ月以降)測定室での測定ができますが、それ以前でも音に対する反応を見ることができます。

Q:教育相談の年齢制限はありますか？

A:高校生までを対象としています。

Q:病院の紹介状がなくても、相談できますか？

A:紹介状がなくても相談を申し込んで頂くことができます。必要な場合は、専門の病院や、利用できる福祉のサービスや助成、協会や親の会等を紹介させて頂くこともできます。

Q:難聴でなくても相談に行ってもよいのですか？

A:中耳炎を繰り返しているお子さん等、一時的な聞こえの問題に関しても相談を行っています。中耳炎を繰り返して、聞こえが悪い状態が続くと言語の獲得に影響を及ぼすこともあります。聞こえについて気になることがありましたら、ご相談ください。

Q:教育相談に行ったら、入学しないといけませんか？

A:教育相談=即入学にはなりません。

